CampbellCollaboration

Plain Language Summary
International Development

2017

職業訓練および実務教育は、労働市場において女性に利益をもたらすが、ほとんどのプログラムの効果は少ししかない

職業訓練は、雇用、正規雇用、所得、および収入にわずかなプラスの影響を与える

職業訓練は、雇用、正規雇用、および収入にわずかにプラスの影響を与える。他のプログラム要素と組み合わせた実務教育は、自営業、販売または収益にプラスの効果をもたらす。
これらの比較的小さな効果は、職業訓練プログラムや実務教育プログラムの規模を拡大することを正当化するのに不十分であるかもしれない。効果を向上させるためにデザインの設定変更を検証する必要がある。

このレビューは何を調査したのか？

世界中の女性は、最低限のスキルしか求められないような仕事に就くことが多く、学習と昇進の機会はほとんどない。政府と開発機関は、職業訓練プログラムや実務教育プログラムを通じて女性のスキルを向上させようとしている。

このレビューは、そのようなプログラムの影響、および職業訓練と実務教育の有効性に対する障壁と促進に関するエビデンスを要約している。

何の調査が含まれていたのか？

含まれている研究は、低所得および中所得国の18歳以上の女性を対象とした職業訓練および実務教育プログラムの影響を測定した実験的および擬似実験的評価である。このレビューには、職業訓練および実務教育の有効性に対する障壁、および促進を調査する質的および混合法の研究も含まれている。

このレビューの主たる結果は何か？

職業訓練にはわずかなプラスの効果がある。雇用と正規雇用はそれぞれ11%と8%増加し、所得は6%増加した。 調査結果には多少のばらつきがある。

ジェンダーを重視したプログラムでは、効果が大きくなる。ライフスキルトレーニングやインターンシップを含むプログラムでは、雇用への影響ではなく、所得への影響が大きくなる。雇用の影響は、アフリカとアジアでより大きくなる。効果は、プログラムの開始後12か月よりもプログラムの開始後6か月の方が強くなる。

職業訓練プログラムは一般に、有効性を損なう可能性のある適切な品質管理手順または監視機能を確立することなく外部委託された。

このレビューの目的は何か？

このキャンベルの系統的レビューでは、低所得国および中所得国の女性を対象とした職業訓練および実務教育の影響を検証している。 このレビューは、実験的または擬似実験的デザインによる35の定量的研究からのエビデンスをまとめたものである。 このレビューは、80,000人以上の女性のデータを含む30の介入の影響をまとめた。 質的なナラティブのメタ統合には、50の研究の結果が含まれている。

実務教育と金銭授受またはライフスキルトレーニングを組み合わせることで、自営業の可能性が73%増加し、売上または利益が7%増加した。現金譲渡を伴う実務教育は、現金移転を伴わない実務教育と異なる効果はなかった。

売上への影響は、サハラ以南のアフリカでより大きくなっている(15%)。より大きな効果は、これらのプログラムがジェンダーへ強く焦点を当てたことが要因である可能性がある。売上と利益に対するプラスの効果は、ビジネスの知識と実践を強化する指導と技術支援の要素を含めることによって促進される。

プログラムに参加する距離や交通費、参加のための時間的制約、経済的および労働市場の障壁などの構造的障壁は、プログラムの有効性を制限する。職業上の差別や家庭とケアについての責任の不平等といったジェンダー規範、および保育施設の費用と利用可能性もまた、職業訓練や実務教育への女性の参加を妨げている。

このレビューの知見は何を意味するのか？

職業訓練は、雇用、正規雇用、および収入にわずかにプラスの影響を与えた。他のプログラム要素と組み合わせた実務教育は、自営業にプラスの効果をもたらし、売上や利益にもわずかなプラスの効果をもたらした。しかし、これらの比較的小さな効果は、職業訓練プログラムまたは実務教育プログラムの規模拡大を正当化するには不十分かもしれない。

職業訓練プログラムの効果は、より強くジェンダーに焦点をあてる、ライフスキルトレーニング、またはインターンシップを含めることにより増加する可能性がある。 しかし、現在のエビデンスは、そのようなアプローチの有効性を強く主張するには十分ではない。これらのメカニズムは、複数の治療群を使用した厳密な混合法研究でさらにテストする必要がある。

このエビデンスはどれくらい最新のものか？

レビュー作成者は、2016年9月までに公開された研究を検索した。このキャンベル系統レビューは2017年12月に公開された。

キャンベル共同計画とは何か？

キャンベル共同計画は、系統的レビューを公開している、国際的・自主的・非営利の研究ネットワークである。我々は、社会および行動科学のプログラムに関するエビデンスの質を評価し、まとめている。我々の目的は、人々がより良い選択そして政策決定ができるように手助けをすることである。

この要約について

この要約は、Howard White (Campbell Collaboration)が Marjorie Chinen, Thomas de Hoop, Josh Sennett, Lorena Aleazer, Maria Balarin著、『the Campbell Systematic Review 2017:16 Vocational and business training to improve women's labour market outcomes in low- and middle-income countries: a systematic review(DOI10.4073/ csr.2017:16』に依拠して作成したものである。Tanya Kristiansen (Campbell Collaboration)がこの要約の再デザインおよび編集をした。この要約の作成のための American Institutes for Research(AIR)からの財政支援に感謝の意を表する。

The Campbell Collaboration
info@campbellcollaboration.org